

道徳年間指導計画 第4学年

重点目標

|             | 内容項目  | [主題名]<br>教材名<br>(出典)                     | 主題構成の理由   | ※ねらい ○発問 ◎中心発問  | 他の教育活動等との関連   | 『わたしたちの道徳』<br>「高知の道徳」<br>との関連                      | 地域・家庭との連携   | 評価・振り返り |
|-------------|-------|--|---|---|---|--|-------------|---------|
| 四月<br>(第二週) | 礼儀    | [まごころをもって]<br>1. 春の星<br>(みんなのどうとく)       | 礼儀は、表面に表れる部分のみではなく、相手を思いやる心が必要であることが理解できる。  | ※「お先に」と声をかけ、タクシーに乗っていく人たちの姿を通して、相手への敬意やいたわり、感謝の気持ちなどを表すことの大切さや必要性に気づき、誰に対しても真心をもち、相手を思いやって接しようとする気持ちを育む。<br>○寒いに並んでタクシーを待っているわたしは、どんな気持ちで待っているのでしょうか。<br>◎「お先に。」と、並んでいる人に次々と言い残して帰る人たちを見て、わたしは、どんなことを考えたでしょう。 | 「入学式」<br>「委員会活動」<br>「1年生を迎える会」<br>生活目標<br>「あいさつをしよう」  | <終末><br>P. 56、57                                   | 保護者・地域の方の参画 | 教材 ( )  |
| 四月<br>(第三週) | 節度、節制 | [自分でできることは自分で]<br>2. 目ざまし時計<br>(ゆたかな心で)  | 児童の興味をひく刺激や情報が氾濫している今日、それらに影響されて日々の生活が乱れてくることも多いという実態がある。規則正しい生活を送るためには、時間を有効に使うことが大切である。時間のことを常に意識して行動することにより、自立的な生活態度を養いたい。 | ※よしこの行動について考えることを通して規則正しい生活を送ることの大切さを理解し、自分でできることは自分でやり、節度ある生活をしようとする態度を養う。<br>○よしこさんは、どうして「わたしのきまり」を作ろうとしたのでしょうか。<br>◎保健室のベッドで、寝ているよし子さんを見て、みなさんはどんなことを考えましたか。   | 「1学期のめあて」<br>「遠足」                                     | <終末><br>P. 10、11 を活用する。                            | 保護者・地域の方の参画 | 教材 ( )  |
| 五月<br>(第一週) | 規則の尊重 | [心の内にある決まり]<br>3. 雨のバス停留所で<br>(わたしたちの道徳) | よし子のとった行動を通して、社会生活を互いに気持ちよく営んでいくための公衆道徳にはそのようなものがあるかという理解を深め、進んで守ろうとする気持ちをもたせる。   | ※よし子の気持ちや行動を考えることを通し約束や社会のきまりを守って行動しようとする態度を養う。<br>○先頭に並んだよし子さんがお母さんに連れ戻された時、よし子は、どんなことを考えたでしょう。<br>◎バスに乗った後も、いつもと全然違うお母さんの様子を見て、よし子は、どんなことを考えていたでしょう。  | 「交通安全教室」<br>「プール開き」<br>生活目標<br>「学校のきまりを守ろう」<br>「避難訓練」 | P. 124 ～ 127 を読む。<br><br><終末><br>P. 118、119 を活用する。 | 保護者・地域の方の参画 | 教材 ( )  |

|             |                |   |  |   |  |                     |           |        |
|-------------|----------------|---|--|---|--|---------------------|-----------|--------|
| 五月<br>(第二週) | 親切、思いやり        | [人の気持ちを考える]<br>4. 温かい言葉<br>(みんなのどうとく)       | ギブスをした男の子とお兄さんの会話から本当の思いやり、優しさとは何か考え、相手の立場になって考え行動することの大切さに気付くようにする  | *お兄さんがとった行動を考えることを通して、相手の立場や気持ちを思いやり理解した上で、親切にしようとする大切さについて自覚を深める。<br>○「やめろ。ぼくは一人でのぼれるぞ。」という怒ったような声が聞こえた時、ぼくはどんなことを考えたでしょう。<br>◎お兄さんがあやまり男の子が「ありがとう」と言った会話を聞いた時、ぼくはどんなことを思ったでしょう。 |  | <終末><br>P.63 を活用する。 | 保護者・地域の参画 | 教材 ( ) |
| 五月<br>(第三週) | 正直、誠実          | [正直に生きれば]<br>5. 百点を十回とれば<br>(みんなのどうとく)      | てつろうの気持ちに共感しながら、嘘をつかず正直に話した方が気持ちがすっきりし、心が明るくなることに気付かせる。  | *主人公てつろうの葛藤を通して、うそやごまかしを乗り越えて、正直に明るく伸び伸びと生きる心を育てる。<br>○漢字テストの間違いを気付いた時、てつろうは、どんなことを考えたでしょう。<br>◎先生に正直に話したてつろうについて、どんなことを考えますか。  |  | <終末><br>P.38 を活用する。 | 保護者・地域の参画 | 教材 ( ) |
| 五月<br>(第四週) | 希望と勇氣、努力と強い意志  | [くじけずさいごまで]<br>6. ぼくのへんしん<br>(ゆたかな心で)       | 不撓不屈の精神や態度は、一朝一夕に身につくものではなく、日々の努力の積み重ねが大切である。困難や障害に出会ったとき、すぐに音をあげたり、途中で投げ出したりするのではなく、それを乗り越えていくことに、人間としてのよりよい生き方が見いだされるのである。その際、周りの人の励ましや称賛が、とても大切である。 | *自分でやろうと決心したことは、粘り強くやり遂げるよう努力する態度を養う。<br>○お母さんの言葉を、聞いてはっとしたぼくは、どんなことを考えていたでしょう。<br>◎何度も何度も練習をして足掛け回りができたぼくについて、みなさんは、どう思いますか。   | 国語<br>「動いて、考えて、また動く」<br>理科<br>「天気と気温」<br>体育<br>「跳び箱運動」 | <終末><br>P.22 を活用する。 | 保護者・地域の参画 | 教材 ( ) |
| 六月<br>(第一週) | 善悪の判断、自律、自由と責任 | [勇氣を出して]<br>7. 一人ぼっちのYちゃん<br>(きみがいちばんひかるとき) | 「私」の気持ちに共感しながら、たとえ自分の立場が悪くなくても、正しいと思ったことを実行していくことの大切さに気付くようにする。  | *うそをついたり、ごまかしたりせず、正直に明るく元気に生きようとする心情を育てる。<br>○わたしはどうして、Yちゃんへの意地悪を始めたのでしょうか。<br>○私は悪いことだと知りながらどうしてYちゃんへの意地悪を続けてしまったのでしょうか。<br>◎Yちゃんの涙を見て自分が悪かったと気付いたわたしはこれからどんなことをすればいいと考えたでしょう。   |  |                     | 保護者・地域の参画 | 教材 ( ) |

|             |            |  |  |  |  |                         |                 |        |
|-------------|------------|--|--|--|--|-------------------------|-----------------|--------|
| 六月<br>(第二週) | 公正、公平、社会主義 | [勇気ある行動]<br>8. ドッチボール<br>(ゆたかな心で)                | 社会生活の中では、いろいろな力関係がある。その力関係の中で、弱いものや地位の下の方が言うなりになり、正しいことが通らないような社会であってはならない。どんな立場であっても、正しいことは正しいこととして主張できる勇気を育てたい。                                      | *登の行動を通して、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする心情を育てる。<br>○昼休み、みんなはどんな気持ちでドッチボールを始めたでしょう。<br>○教室に入っていく時、明や一郎たりは何を考えているのだろう。<br>◎登の一言一言がみんなの心に響いたのはなぜだと思いますか。  |  |                         | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 六月<br>(第三週) | 友情、信頼      | [友情の大切さ]<br>9. とべないほたる<br>(ゆたかな心で)               | よりよい友だち関係を築くためには、お互いを認め合い、助け合い、助け合い、理解し合いながら、信頼感を育てることが大切である。それがあつての心の安定が図られ、楽しい生活が送れるのである。友だち同士一緒に行動することによって、互いを理解するとともに、助け合うことの大切さを常に感得していくことが大切である。 | *友だちと互いに理解し合い、助け合っているようとする心情を育てる。<br>○他のほたるたちが目の前をすうっと光の糸を引いて飛んで行くのを見ているとき、とべないほたるはどんな気持ちだったでしょう。<br>○ガラス瓶の中で光っているホタルを見た時、飛べないホタルはどんなことを考えていたでしょう。<br>◎数十匹のホタルやとらわれたホタルの話声をきいた飛べないホタルはどんな気持ちになったでしょう | 国語<br>「新聞を作ろう」<br>理科<br>「電気のはたらき」<br>音楽<br>「ひょうしとせんりつ」<br>体育<br>「ソフトバレーボール」<br>学級会<br>「楽しいクラスに」<br>「プール開き」 |                         | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 六月<br>(第四週) | 生命の尊さ      | [生命を大切に守る心]<br>10. パンダの命を救え<br>(みんなのどうとく)        | パンダの飼育係の本間さんからの気持ちを通して、生き物の生命の尊さを感じ取り、生命を大切に守ろうとする気持ちを育てていきたい。   | *生き物の生命の尊さを感じ取り、かけがえない生命を大切にすることをもち、どんな困難も乗り越え、守りぬこうとする強い意志を育てる。<br>○飼育係の本間さんは、カンカンに薬を飲ませている時、どんな気持ちだったでしょう。<br>◎カンカンが笹の葉をムシャムシャと食べた時、本間さんは、どんな気持ちだったでしょう。   | 「避難訓練」   | <終末><br>P. 92、93 を活用する。 | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 七月<br>(第一週) | 個性の伸長      | [自分のよさを見つけて伸ばす]<br>11. 花をさかせた水がめの話<br>(みんなのどうとく) | 自分では短所と思っていたことが実は長所であった水がめの話を通して、自分のよい所を見つけ伸ばしていこうとする気持ちをもたせていきたい。   | *自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。<br>○「めいわくわかりかけて申し訳ありません」という水がめはどんな気持ちでしょう。<br>○男に「いいんだよ」と言われた後、二年間、水がめは、どんな気持ちで働いていたでしょう。<br>◎自分がさかせた花を見て、水がめは、どんなことを考えたでしょう。                                       | 「1学期の反省」<br><br>国語科<br>「今の自分を話します」   | <終末><br>P. 46、47 を活用する。 | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |

|             |               |   |   |   |                                    |  |                                    |        |
|-------------|---------------|---|---|---|------------------------------------|--|------------------------------------|--------|
| 七月<br>(第二週) | 感動、<br>畏敬の念   | [美しいものを感じて]<br><br>12. 富士と北斎<br>(わたしたちの道徳)      | 自然や音楽、物語などの美しいもののみならず、人の心や生き物の行動を含めた気高さにも気づき始めるこの時期に理科の星の観察の学習や学校行事での自然体験学習などの体験を積み重ねることで、自然の美しさを感じる心を育てていきたい。また、児童自らや美しいものや気高いものにふれようとする態度も育てていきたい。                      | ※富士山の美しさに魅せられた北斎の姿を通して、美しいものにふれる大切さを学び、美しいものに感動する心情を養う。<br><br>○江戸を出て、いろいろな富士山を写し取っている時の北斎は、どんな気持ちだったでしょう。<br>◎江戸を再び出て、富士山を見た時、北斎は、どんな気持ちだったでしょう。   |                                    | P. 112 ～ 115<br>を読む。<br><br><終末><br>P. 110、111を<br>活用する。 | 保護者・地域<br>の方の参画                    | 教材 ( ) |
| 九月<br>(第一週) | 国際理解、<br>国際親善 | [社会とわたし]<br><br>13. 日本のことを知っていますか<br>(みんなのどうとく) | 歴史と伝統を学びながら、後世までに日本の文化を残そうとする姿勢に共感し、日本の文化、伝統に関心を持ち、大切にしていこうとする心構えをもたせたい。  | ※外国人との交流を通して、外国人の人々や文化に関心をもとうとする態度を養う。<br><br>○外国人と交流している時、わたしは、どんな気持ちになったでしょう。<br>◎タイの先生が、自国のことについて話している時、どんなことを考えていたでしょう。   |                                    |  | 保護者・地域<br>の方の参画                    | 教材 ( ) |
| 九月<br>(第二週) | 親切、<br>思いやり   | [思いやる心を伝えよう]<br><br>14. 心の信号機<br>(みんなのどうとく)     | 親切にするということは、相手の気持ちを自分のこととして推し量る力が要求されるものであり、それが相手を思いやる心である。心から思いやる気持ちがあつてこそ、初めて親切が行動となって表れる。生活の様々な場面において、思いやりや親切な行為が相手を温かい気持ちにさせるものであることを感じ取り、進んで温かい人間関係をつくらうとすようにしていきたい。 | ※お年よりや困っている人に対する思いやりの気持ちを常に忘れず、見知らぬ相手であつても勇気をもって積極的に伝えたり働きかけたりしようとする心を育てる。<br><br>○信号機のところでずっと立ったままの男の人を見て、ぼくは、どんなことを考えたでしょう。<br>○ぼくの足が、ゆっくりになってしまったのは、どんなことを考えていたからでしょう。<br>◎男の人の後ろ姿を見送るぼくは、どんな気持ちだったでしょう。 | 国語<br>「だれもが関わり合えるように」<br>「ふれあい参観日」 |  | ふれあい参観<br>日<br><br>保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |

|                     |                     |  |  |   |   |  |   |               |
|---------------------|---------------------|--|--|---|---|--|---|---------------|
| <p>九月<br/>(第三週)</p> | <p>希望と裏、努力と強い意志</p> | <p>[目標に向かって]<br/>15. グレンよ、走れ<br/>(みんなのどうとく)</p>        | <p>目標に向かって最後まであきらめなかったグレンの気持ちに共感しながら、最後までねばり強くやり遂げることの大切さに気付くようにする。</p>  | <p>※自分で目標を立て、最後まで、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。<br/>○もう歩けないと思っていたグレンが走れるようになったのはどうしてでしょう。<br/>◎オリンピックで銀メダルをとったグレンは、どんなことを考えていたでしょう。</p>  | <p>算数<br/>「1億よ大きい数を調べよう」<br/>体育<br/>「プールおさめ」<br/>「かけっこ・リレー」<br/>学級会<br/>「2学期学級開き」<br/>生活目標<br/>「運動会の練習をがんばろう」<br/>「運動会」</p> | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 25 を活用する。</p>                   | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p>   | <p>教材 ( )</p> |
| <p>九月<br/>(第四週)</p> | <p>節度、節制</p>        | <p>[よく考えて行動する]<br/>16. 小さな手<br/>(みんなのどうとく)</p>         | <p>自分の事は責任をもって自分自身でしていくことに良さを感じ、身の回りのことを自分でしっかりやっいていこうとする心構えをもつ。</p>   | <p>*人に頼ったり、人のせいせず、自分でできることは自分でやり、良く考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。<br/>○弟の見方ばかりしているお母さんの言葉を聞いて、まゆみはどんなことを考えたでしょう。<br/>◎だだをこねている女の子の手を握って、学校へ連れていく時、お母さんの言葉を思い出しながら、私はどんなことを考えていたでしょう。</p> |   |  | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p>   | <p>教材 ( )</p> |
| <p>十月<br/>(第一週)</p> | <p>個性の伸長</p>        | <p>[自分の良い所をのびして]<br/>17. うれしく思えた日から<br/>(わたしたちの道徳)</p> | <p>自分の長所を伸ばしていくということは、自己肯定感の向上や成長を促す意欲に結びつくものであるとともに、困難に直面した時の心の支えにもなる。自己肯定感の向上や成長を促す意欲は、自分の個性を伸ばすことにつながり、その個性を最大限に生かしていくことができる。自分のよさをさらに伸ばしていこうとする態度を育てていきたい。</p> | <p>※劣等感を抱いていた主人公が自分の特徴に気づき、夢に向かって生きていく姿を通して、自分の新たな個性に気づき、そのよさをさらに伸ばしていこうとする態度を育てる。<br/>○「いい所なんて一つもない」と思っていた主人公は、どんなことを考えていたでしょう。<br/>◎主人公が「もう一年前の自分じゃない」と変わることができたのは、なぜなのでしょう。</p>    |   | <p>P. 50～52 を読む。<br/>&lt;終末&gt;<br/>P. 48 を活用する。</p> | <p>地域の方に<br/>ゲストティーチャーとして、自分のよさを生かして取り組んでいることについて話してもらおう。<br/><br/>保護者・地域<br/>の方の参画</p> | <p>教材 ( )</p> |

|                      |                             |  |   |  |  |   |                         |               |
|----------------------|-----------------------------|--|---|--|--|---|-------------------------|---------------|
| <p>十月<br/>(第二週)</p>  | <p>伝統と文化の尊重<br/>国や郷土を愛す</p> | <p>[ふるさとを思う心]<br/>18. みんなの思いが伝わる<br/>といいな<br/>(みんなのどうとく)</p> | <p>自分たちの生まれ育った郷土の文化や伝統を大切にすることのよさに気づき津野町の文化・伝統に興味をもち、親しんでいこうとする態度を育てたい。</p>   | <p>※小学生が、力を合わせて大いちょうを守った話から地域の人々や生活、文化に興味をもち大切にしていこうとする心情を養う。<br/>○元気がないいちょうを見た時、わたしは、どんな気持ちだったでしょう。<br/>○樹木医さんから木が弱っていると聞いた時、わたしはどんな気持ちだったでしょう。<br/>◎大いちょうが元気を取り戻したのを見たわたしは、どんなことを考えたでしょう。</p>          | <p>社会<br/>「吉田新田はどこにあった」</p>  | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 158、159<br/>を活用する。</p> | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p> | <p>教材 ( )</p> |
| <p>十月<br/>(第三週)</p>  | <p>自然愛護</p>                 | <p>[みんな、生きている]<br/>19. うみがめの命<br/>(みんなのどうとく)</p>             | <p>ウミガメの誕生から何十年もの歳月を経て生まれた海岸に戻ることを知り、動植物を大切にすることを大切にしたい。</p>  | <p>※自然のすばらしさや不思議さを感じ、地球上で共に生きるものとして関わり親しもうとする気持ちを育てる。<br/>○地上に出てからすぐに、自分一人の力で生きていかなければならないウミガメのことをあなたはどのように思いますか。<br/>◎何千個のたまごの中からウミガメとして生きていくのは、ほんのわずかと知って、みんなは、どんなふうに思いますか。</p>                        | <p>理科「秋の生き物のようすを調べよう」</p>  | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 105 を活用する。</p>         | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p> | <p>教材 ( )</p> |
| <p>十月<br/>(第四週)</p>  | <p>礼儀</p>                   | <p>[礼儀の大切さ]<br/>20. 電車のできごと<br/>(みんなのどうとく)</p>               | <p>人間関係が希薄化し、孤立化する昨今において、人間同士が心から信頼し合い、支え合っていくためには、お互いに尊敬と感謝の気持ちを持ち、その思いやりを言葉や態度で相手に伝えることが一層求められている。そのためにも、礼儀の大切さを自覚させたい。</p> | <p>※礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする態度を育てる。<br/>○女の子が、「席が空いたわ」と言ってさっさと座ったのを見て、ぼくはどんなことを考えたでしょう。<br/>◎三日後に出会ったお腹の大きな女の人に、席を譲った時、丁寧に「お礼を言っている女の人を見て、どんなことを考えたでしょう。」</p>                                      |  | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 58 を活用する。</p>          | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p> | <p>教材 ( )</p> |
| <p>十一月<br/>(第一週)</p> | <p>友情、信頼</p>                | <p>[大切な友だちだから]<br/>21. わたしとさおりちゃん<br/>(みんなのどうとく)</p>         | <p>互いの信頼の下、助け合うことが出来る友だち関係のよさに気づき、時には厳しく忠告したり、助け合ったりできる友だち関係を築いていこうとする気持ちをもたせる。</p>   | <p>※仲の良い友達とのいさかいや仲直りをする話を通して、友だちと励まし合い、友情を深めていこうとする情を育てる。<br/>○「だめだなあ。第一走者ならもっと速く走れよ」と言われてどんなきもちになったでしょう。<br/>○励ましてくれるさおりちゃんを置いて一人で帰ってしまった私はどんなことを考えながら帰ったでしょう。<br/>◎さおりちゃんとの電話でわたしは、どんなことに気づいたでしょう。</p> | <p>国語<br/>「クラブ活動のリーフレットを作ろう」<br/>算数<br/>「広さをくらべよう」<br/>図工<br/>「すみですみか」<br/>総合的な学習の時間<br/>「ふるさとの川探検②」</p> | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 75 の「友達の歌」を聴く。</p>     | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p> | <p>教材 ( )</p> |

|              |             |   |  |  |  |                                       |                             |        |
|--------------|-------------|---|--|--|--|---------------------------------------|-----------------------------|--------|
| 十一月<br>(第二週) | 感謝          | [みんなのためにつくす人びと]<br>22. あと三十分おくれたら<br>(みんなのどうとく) | 1月の寒い夜、1軒1軒家を訪ね歩いて北川さんを探している消防署の救急隊員の働きで、北川さんの命が助かる。救急隊員の活動に感謝する正夫の気持ちを考えることで、自分たちの生活が、人々の協力や助け合いで成り立っていることが分かる。 | ※日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえようとする心情を養う。<br>○電話に呼びかける山田さんは、どんな気持ちでしょう。<br>○一軒一軒走り回って探している救急隊員は、どんな気持ちでしょう。<br>◎ホットしたため息をついた雅は、どんな気持ちだったでしょう。  | 「収穫祭」  | <終末><br>P. 86、87 を活用する。               | 収穫祭<br>保護者・地域の方の参画          | 教材 ( ) |
| 十一月<br>(第三週) | 正直、誠実       | [正直に生きる]<br>23. 正直五十円分<br>(4年生のどうとく)            | お釣りを50円多くもらった主人公と兄のたった正直な行動と正直に行動しなかった場合を対比して話し合い、正直に行動することの良さに気づき、誠実に明るく生活していこうとする心構えを持つ。                       | *嘘をつかずに正々堂々とふるまうことの大切さとすばらしさを理解し、日々を明るく伸び伸びと生きようとする心を育てる。<br>○ジュースのお釣りが足りない事に気付いたたけしは、どんな気持ちだったのでしょうか。<br>○50円おつりを多くもらった後、黙ってたこやきを食べながら、たけしはどんなことを考えたでしょうか。<br>◎正直50円分のたこ焼きを食べながらたけしはどんなことを考えたでしょうか。 |  | <終末><br>P. 39 を活用する。                  | 保護者・地域の方の参画                 | 教材 ( ) |
| 十一月<br>(第四週) | 家族愛、家庭生活の充実 | [家族愛]<br>24. 妙見山のちかい<br>(ふるさとの志)                | 高知県の先人、「岩崎弥太郎」の家族との関わりに共感させながら、自分の生き方を支えてくれる家族の大切さに気付かせ、家族を敬愛し、楽しい家庭をつくらうとする心情を育てたい。                             | ※父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って、楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。<br>○妙見山の頂上で海をじっと海をにらみつけている弥太郎は、どんなことを思っていたでしょう。<br>○つつみを差し出していった母の言葉を聞いて、弥太郎はどんな気持ちで涙を流していたのだろう。<br>◎江戸に旅立つ前日、妙見山の頂上で誓いを立てる弥太郎は、どんなことを考えていたでしょう。       | 総合的な学習の時間<br>「二分の一人式を開こう」  | <終末><br>P. 138 を活用する。                 | 「二分の一人式を開こう」<br>保護者・地域の方の参画 | 教材 ( ) |
| 十二月<br>(第一週) | 友情、信頼       | [友達と互に理解し合って]<br>25. 同じ仲間だから<br>(わたしたちの道徳)      | 友達の身になって考えることの大切さや、考えが違っていても友達のためだと思えることをはっきりと伝えることで、相手にもその思いが伝わり、信頼や友情が生れることを深く考えていきたい。                         | ※仲間の気持ちを考えて、力を合わせて頑張ろうとする心情を育てる。<br>○とも子はどんなことでなやんでいたのでしょうか。<br>○とも子は、光夫にとって、本当の仲間といえるのだろうか。<br>◎「うん。がんばる」と、とも子に元気に答えた光夫は、どんなことを考えているのでしょうか。   | 音楽<br>「いろいろな歌声を楽しもう」<br>体育<br>「マット運動」<br>総合的な学習の時間<br>「二分の一人式を開こう」 | P. 76～79 を読む。<br><終末><br>P. 80 を活用する。 | 保護者・地域の方の参画                 | 教材 ( ) |

|              |             |   |  |   |                                  |   |                 |        |
|--------------|-------------|---|--|---|----------------------------------|---|-----------------|--------|
| 十二月<br>(第二週) | 生命の尊さ       | <p>[生きることの幸せ]</p> <p>26. わたしの見つけた小さな幸せ<br/>(ゆたかな心)</p>              | <p>児童は身近な家族や飼っている生き物の誕生、病気や死などを通して、生命の大切さを感じるようになる。さらに、自分ががをしたり病気になったりした時、健康であること、命があることの幸せを感じている。ここでは、生命の大切さや、健康のありがたさについて深く考えられるようにしたい。</p>  | <p>*生命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。</p> <p>○お父さんとお母さんの手を握りながら、病院で待っている時、わたしはどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>◎学校に行けることになった朝、わたしは、どんな気持ちになったでしょう。</p>  | 「避難訓練」                           | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 90、91 を活用する。</p>                   | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 十二月<br>(第三週) | 正直、誠実       | <p>[正直に明るい心で]</p> <p>27. 六セント半のおつり<br/>ーリンカーンの話ー<br/>(わたしたちの道徳)</p> | <p>正直に生きるということは、心にやましがなく、うそやごまかしのない生活を送ることである。自分自身に正直に生きることの大切さを理解させ、明るい心で伸び伸びと生活できるようにしていきたい。</p>   | <p>*ごまかすことなく、あやまちを素直に改め、自分自信に正直であろうとする心情を育てる。</p> <p>○「あ、そうだ、おつりを間違えた」とつぶやいた時、エイブは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○冷たい風に吹かれながら、女性の家になかなか着かない時、エイブは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◎夜更けの道を、まっすぐ帰っているとき、エイブは、どのような気持ちだったでしょう。</p> |                                  | <p>P. 42～45 を読む。</p> <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 40 を活用する。</p> | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 一月<br>(第二週)  | 希望と勇氣、努力と強い | <p>[くじけず最後まで]</p> <p>28. 駄場の道柏水路<br/>(津野町道徳教育地域資料集)</p>             | <p>強い意志と実行力によって、困難を克服し、地域の開発を行った先人の生き方を知り、自分の考えや生き方を振り返ることで、やろうと決めたことは、粘り強くやり遂げようとする態度を育てたい。</p>   | <p>*困難な状況の中でもあきらめずに水路を完成させた与介の姿を通して、自分で決めたことは、あきらめずに粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。</p> <p>○与介は、どうして、駄馬に水を引きたいと思ったのでしょうか。</p> <p>◎くじけそうになっても、やめなかった与介のことをあなたは、どう思いますか。</p>   | 音楽<br>「えんそうのくふう」<br>体育<br>「なわとび」 |   | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 一月<br>(第三週)  | 節度、節制       | <p>[良く考えて]</p> <p>29. 少しだけなら<br/>(わたしたちの道徳)</p>                     | <p>社会における情報化の進展に伴い、容易に情報の収集や発信などができるようになった。しかし、そこには、情報社会の影の部分も同時に広がっている。誘惑に負け容易にインターネット等で情報の受け渡しを行うことで、多くの人に迷惑をかけたり、自らが被害にあったりする危険性が潜んでいる。指導に当たっては、情報モラルに配慮し、自分自身の行動について考え、節度ある生活をしていこうとする態度を育てていこうようにしたい。</p> | <p>*よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。</p> <p>○画面の右端に気になるものを見つけたあつしは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○タイマーの音を止め、パソコンの画面をじっと見つめるあつしは、どのようなことを考えていたか。</p> <p>◎お母さんに尋ねられ、下を向いてぼつりと答えたあつしは、どんなことを思っていたか。</p>                   |                                  | <p>P. 16～19 を読む。</p>                                    | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |

|             |          |  |   |   |                                 |  |                 |        |
|-------------|----------|--|---|---|---------------------------------|--|-----------------|--------|
| 一月<br>(第四週) | 礼儀       | <p>[心を見せる]</p> <p>30. えがおであいさつ<br/>(4年生のどうとく)</p>    | <p>お母さんのおばあさんへの対応の仕方を通して、心と体の一体化した礼儀に気づき、だれに対しても、真心のこもった挨拶をしようとする態度を育てる。</p>  | <p>※お母さんのおばあさんへの対応の仕方を通して、礼儀の大切さを知り、真心と笑顔で挨拶しようとする態度を育てる。</p> <p>○挨拶の宿題を出された大輝はどんなことを思っていたでしょう。</p> <p>○あいさつ調べカードを見ながら、大輝は、自分の挨拶を振り返ってどんなことを考えたでしょう。</p> <p>◎お母さんとおばあさんが話している様子を思い出して、大輝は、挨拶についてどんなことを考えましたか。</p> |                                 |  | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 二月<br>(第一週) | 親切、思いやり  | <p>[温かく気づかう心]</p> <p>31. 心と心のあく手<br/>(わたしたちの道徳)</p>  | <p>人は、困っている人を見ればなんとかせずにはいられないという心が働く。その思いやりの心の働きに基づいて行われる、具体的な行為が親切である。親切にする際、相手の状況や困っている事、大変な思いなどを想像し、相手の立場に立って、相手が本当に必要とすることで、自分の取りうる最善の事をしようとする事が大切である。</p>                    | <p>※相手の立場や気持ちを理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。</p> <p>○ぼくが、「荷物、持ちます。」と声をかけたのに、断られた時は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○そっとおばあさんの後ろをあるいて心の中でおうえんするぼくの気持ちを考えましょう。</p> <p>◎ぼくが、おばあさんと心と心のあく手をした気持ちになれたのはどうしてでしょう。</p>                   |                                 | <p>P. 66～69 を読む。</p> <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 62、63 を活用する。</p> | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |
| 二月<br>(第二週) | 勤労、公共の精神 | <p>[社会のためになることを]</p> <p>32. できることから<br/>(ゆたかな心で)</p> | <p>人は、互いに支え合い、共に助け合いながら社会生活を営んでいる。働くことは、単に自分自身が生きていくためだけでなく、社会の一員として自分に課せられた社会的責任を果たして社会に奉仕し、みんなのために役立とうとする側面も含んでいる。体験的な活動の場を通して、働くことや社旗に奉仕することの喜びを感得できるようにして、実践的態度を培っていききたい。</p> | <p>※働くことの喜びを知り、力を合わせてみんなのためになる仕事をしようとする態度を養う。</p> <p>○テレビでタマちゃんが泳いでいる様子を見て、4人は、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>◎ごみを拾い続けているとしこちゃんたちは、どんなことを考えているでしょう。</p>  | <p>生活目標<br/>「自分の係の仕事をがんばろう」</p> | <p>&lt;終末&gt;<br/>P. 134 を活用する。</p>                        | 保護者・地域<br>の方の参画 | 教材 ( ) |

|                     |                               |   |  |  |                                       |  |                                       |               |
|---------------------|-------------------------------|---|--|--|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------|
| <p>二月<br/>(第三週)</p> | <p>伝統文化の尊重<br/>国や郷土を愛する態度</p> | <p>[伝統文化の尊重]<br/>33. 風によって<br/>(ふるさとの志)</p>       | <p>自分たちの生まれ育った郷土について知ることから始めることが大切だと考える。先人の思いや伝統芸能を受け継いでいる人たちの思いや願いに気付くことで郷土に対して関心を持ち、関わろうとする態度を育て、郷土の伝統や文化を大切にしていこうとする気持ちを高めてくようにしたい。</p>       | <p>*地域の人々や生活、文化、伝統に親しみ、郷土の伝統と文化を大切にしていこうとする心情を育てる。<br/>○「ゲームしゅきえい」とテレビゲームの画面を見つめたまま、答えたひかるはどんな気持ちだったのでしょうか。<br/>○たこ作りの様子をじっと見つめながら、ひかるはどんなことを思っていたでしょう。<br/>○帰り道、おじいちゃんを見上げたひかるは、どんなことを考えていでしょう。<br/>◎空に舞うとさだこが、ますます大きく見えたのは、どうしてでしょう。</p> | <p>社会<br/>「昔のよさを未来に伝える町づくり」</p>       | <p>&lt;終末&gt;<br/>「高知の道徳」 P.58 を活用する。</p>  | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p>               | <p>教材 ( )</p> |
| <p>三月<br/>(第一週)</p> | <p>よりよい学校生活、<br/>集団生活の充実</p>  | <p>[学校を大切に]<br/>34. かべに付けた手のあと<br/>(みんなのどうとく)</p> | <p>児童一人ひとりが自分の属しているところに所属感を持ち、その集団をよりよくしていこうとする意欲や態度を育てることは重要である。人との関わりの中で、自分の学級や学校に誇りを持ち、自分の役割や責任を自覚し、進んでより良い学校にしたいと思う児童を育てたい。</p>              | <p>※毎日生活をしている学校を、大切にしていこうとする心育てる。<br/>○壁につけた手の跡を見て、ひろしはどんなことを思ったでしょう。<br/>○自分の手の跡をふいているたつやを、ひろしは、どんな思いで見えていたでしょう。<br/>◎学校をきれいにする六年生は、どんな気持ちでしょう。</p>   | <p>「1日入学」<br/>「6年生を送る会」<br/>「卒業式」</p> | <p>&lt;終末&gt;<br/>P.152、153<br/>を活用する。</p> | <p>「6年生を送る会」<br/>保護者・地域<br/>の方の参画</p> | <p>教材 ( )</p> |
| <p>三月<br/>(第一週)</p> | <p>相互理解、<br/>寛容</p>           | <p>[相手のことを理解して]<br/>35. なんとなく<br/>(4年生のどうとく)</p>  | <p>気の合う友達と、その場が楽しければよいという、軽い関係で、程々につき合えばよいのだという風潮が大人にも子どもにも出ている。自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことも理解し、自分と異なる意見も大切にし、互いに理解し合いよりよく生きていこうとする態度を育てていきたい。</p> | <p>※自分の意見や考えを相手に伝えるとともに相手に理解し、周りのみんなと仲良く過ごそうとする態度を育てる。<br/>○さやかに「やよいもでしょ。」と言われた時、みどりはどんなことを思ったでしょう。<br/>○心配そうな顔をしているやよいを見た、みどりは、どんな気持ちだったでしょう。<br/>◎みどりが、しっかり分かり合える友達になりたいと思ったのは、どんな気持ちからでしょう。</p>   |                                       |  | <p>保護者・地域<br/>の方の参画</p>               | <p>教材 ( )</p> |